

平成29年度 第5回桜井市学校規模適正化検討委員会 会議録（概略）

1 日 時

2017年（平成29年）10月3日（火）9:30～10:10

2 場 所

中央公民館 2階 研修室2

3 出席者

(1) 委員（10名）

岩本廣美委員，宮村裕子委員，河合淳好委員，今谷浩二委員，片木伸光委員，山下貴司委員，中西豊委員，奥田勝彦委員，青木浩之委員，奥田道明委員

(2) 事務局（2名）

河合課長，米田アドバイザー

4 会議の成立

委員10名中、全員出席で、委員の過半数が出席しているため、桜井市学校規模適正化検討委員会要綱第6条第2項の規定により会議が成立

5 協議事項

(1) 議事

①桜井市立小・中学校の適正規模・適正配置について（答申案）

②その他

6 資料

- ・次第
- ・平成29年度 第4回桜井市学校規模適正化検討委員会 会議録（概略）
- ・別紙 桜井市の学校の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方
- ・桜井市の学校の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方（答申）

7 協議内容

(1) 議事

①桜井市立小・中学校の適正規模・適正配置について（答申案）

はじめに、1 学校の現状と問題について

- ・特に意見無し

2 学校の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方、おわりに

- ・「(4)適正化を推進する上での留意点について」の2から4つ目の「○」には、統合という表現が出てくるので、補足のために2つ目の「○」の出だしに、「統合を必要とする場合は、」の一文を追加した方が良いのではないか。
- ・それでは、2つ目の「○」の出だしに、「統合を必要とする場合は、」を追加して修正したものを、答申案としてご承認いただいたものとする。

②その他

会長：慎重な審議のうえ答申をまとめたことに感謝と、桜井市が教育を核として、子育て世代に選ばれるまちづくりに知恵を出し合い、人口が増えるまちに循環していく願いを述べた。

答申書手交式

第5回桜井市学校規模適正化検討委員会協議終了後。

平成29年5月23日付 桜教総第6号をもって諮問を受けた、「桜井市立小・中学校の規模の適正化に関する事項、及び、桜井市立小・中学校の配置の適正化に関する事項」について、本検討委員会を代表して岩本会長から桜井市教育委員会上田教育長へ答申書の手交を行った。

答申書手交後、上田教育長から、桜井市の学校規模適正化基本方針の作成にあたっては、最大限に本検討委員会の答申を尊重するとの意向が示された。